

# しやまよう第6号

“地域に信頼され 安心を提供できる 社協を目指して”

発行元 社会福祉法人和泊町社会福祉協議会

発行日 平成28年 6月24日

社会福祉協議会では、次の役職員体制の下、「誰もが安心して暮らせるまち“和泊町”」の実現に向けて、住民主体による地域福祉の充実と組織化に全力で取り組んでまいります。

《役員紹介》 H28.06.01 現在

(敬称略)

会長	竿田 富夫	有識者	評 議 員			
副会長	長田 榮利	有識者	伊集院周克	区長会代表	榮 富弘	民児協代表
理事	名島 勝一	施設代表	大屋 富茂	区長会代表	島田香代子	長寿クラブ代表
理事	朝戸 弘文	教育委員代表	安田 克彦	区長会代表	村田 行夫	障害者団体代表
理事	森 富隆	区長会代表	太 直孝	区長会代表	外山 恵美子	母子会代表
理事	盛 泰夫	有識者	竹下 敏也	農協代表	佐々木よし子	保護司会代表
理事	瀬川 光雄	行政代表	南 好二	商工会代表	吉峯 実文	遺族会代表
監事	上原 清	有識者	葉棚 美津乃	女性団体代表	高田 清蔵	行政代表
監事	松下 元文	有識者	安徳 建二	NPO代表	理事7名、監事2名、評議員15名	
第三者委員	石原 純子	民児協代表	中屋 吉右	福祉行政経験者	今井フサ子	学識経験者

～町民の皆さまのご理解とご協力をお願い致します～

## I 平成27年度の主な社協活動（地域福祉活動）の実績について

### ①相談・支援事業（一般相談のみ）

高齢者関係	障害者関係	児童関係	その他	合計
17件	16件	2件	2件	37件

### ◎苦情受付・処理結果

高齢者関係	障害者関係	児童関係	その他	苦情受付件数	処理件数	未処理件数
3件	2件	6件	0件	11件	11件	0件

### ②地域福祉推進事業（コーディネーター2名配置）

○総合相談窓口の設置（24時間対応）、救急医療情報キット交付事業

○住民座談会、ふれあい・いきいきサロン立上・運営支援

○福祉人材育成（生活支援サポーター講座、災害ボランティア養成講座、サロン交流研修会）

### ③生活困窮者自立相談支援事業

○相談件数：14件、支援件数：23件、プラン作成件数：0件

○支援調整会議（1回）

### ④生活福祉資金貸付事業（相談件数：12件、新規貸付件数：0件、延4件）

### ⑤ボランティアセンター運営事業

○相談件数：668件、斡旋件数：620件、登録者数：483名

○ボランティアスクール等福祉教育（19回、延参加人数：352名）

○緑の生活環境保全対策事業（ゴミ・クリーン大作戦：2団体）

⑥くらし安心ネットワーク事業

○在宅福祉アドバイザー（136名）、訪問支援回数（9473回）

○支え合い会議（40回、延326名）、研修会（2回、延148名）

○地域見守りネットワーク連絡会（2回）

⑥シニアはつらつ（脳トレ）教室開催事業

○教室開催数：48回（延：1179名）、シニアはつらつ倶楽部（延：96名）

⑦生活支援サービス「あぐネット」事業

○サポーター会員：29名、利用会員：51名、活動件数：134件、派遣人数：238名

○懇談会（6回）、あぐネット通信6回発行

⑧福祉サービス利用支援事業（契約件数41件）※判断能力に不安のある方の日常生活を支援する事業です。

相談支援	金銭管理	各種手続き	書類等預り	合計
1481件	1460件	136件	58件	3135件

⑨赤い羽根共同募金事業（募金総額：1,685,104円）

⑩赤十字活動（社資総額：1,033,600円、災害義援金：156,336円）

災害救援物資配布：1件（全焼）、赤十字奉仕団研修会（参加人数：30名）

⑪福祉機器リサイクル（貸出）事業（貸付件数：25件）

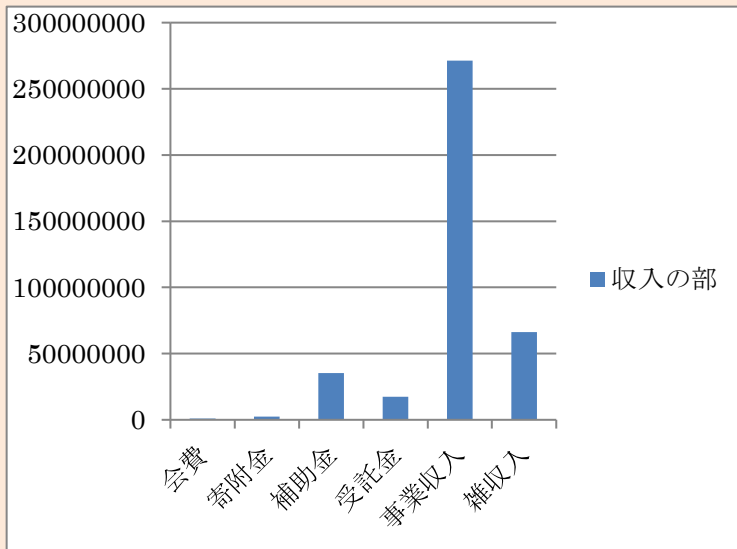
⑫祭壇貸付事業（貸付件数：12件）無償化・補装具相談会（2回、相談件数：19件）

⑬スクールソーシャルワーカー活用事業、福祉団体支援事業（団体の事務局）

Ⅱ 平成27年度収支決算の状況について（社会福祉法人新会計基準へ移行）

〔収入合計： 393,820,939円〕

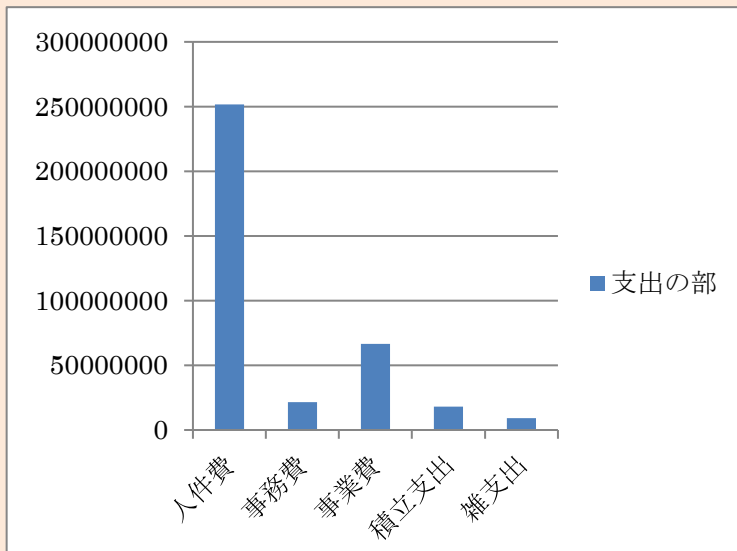
- ① 会費 1,060,800円  
(2,652世帯)
- ② 寄附金 2,513,259円
- ③ 補助金 35,183,000円
- ④ 受託金 17,499,850円
- ⑤ 事業収入 271,313,882円
- ⑥ 雑収入 66,250,148円



子ども・子育て支援法の施行に伴い保育園運営費が前年度比12%増加し、介護報酬の引き下げに伴う影響が少なかったことから、事業収入は、前年度比9%の伸びとなった。

〔支出合計： 366,743,025円〕

- ① 人件費 251,601,192円
- ② 事務費 21,435,163円
- ③ 事業費 66,567,889円
- ④ 積立支出 18,000,405円
- ⑤ 雑支出 9,138,376円



人件費が前年度比8%増加しているが、2名の退職金及び昇給分を除くと大きな変動は見られない。人的・物的環境の整備に係る財源についても状況に応じて適正な運用が行われている。（保育園耐震補強工事など）



## 〔沖永良部地区社協役職員研修会〕



### “今後の社協活動の更なる飛躍に期待”

社会情勢の変革に伴い、社協を取り巻く環境は益々厳しくなる中、地域福祉の推進役である社協の役割を役職員共通認識の下、積極的に推進していくことを目的に、両町合同による役職員研修会を開催いたしました。県社協の福田地域福祉部長から「社協マンとして求められる職員像」と題して、社協の成り立ちや今求められる役割と活動、行動原則など、貴重なご講演をいただきました。

また、それぞれの社協活動や地域福祉推進についての熱の入った意見交換も繰り広げられました。

### 〔ボランティアスクール〕



本会では、町内の学校において、車いすや老人疑似、アイマスクや手話等の体験を通して、福祉・介護に関心と理解を深めてもらうことを目的にボランティアスクールを実施しています。

和泊小学校では、その体験を生かすため、実際の現場体験を企画し、しらゆりの園のご協力で見事な実現しました。施設訪問が初めての児童も多く、戸惑いも見られましたが、ゲーム等を通じて、普通の明るさが戻り、楽しい交流の場になりました。お年寄りも小さな訪問者に終始笑顔で大満足。

## 〔赤十字奉仕団研修会〕

地域女性連絡協議会員の皆さまには、赤十字の使命である人道的な諸活動を実践するボランティア組織としての“赤十字奉仕団”の役割も担っていただいております。毎年1回、日赤県支部の指導のもと、赤十字活動や救急法、炊き出し訓練等の研修を実施しています。今回は、避難所における食料や救援物資の配分をテーマに、限られた物資を要援護者や児童等に配慮しながら、いかに効率的かつ公平に配分するか？様々なケースを想定した演習に、真剣に取り組む姿勢が見られました。



### 〔サロン交流研修会〕

高齢者等の新たな集いの場として、全国的な広がりを見せる「ふれあい・いきいきサロン」。日時や頻度、内容や対象者等、特に制限はなく、誰もが気軽に集い、楽しい時間を共有する場とあって、本町でも3カ所のサロンが立ち上り1か月に1回程度、活動しています。今回は、サロン活動を町内全域に普及させるため、事例発表や歯つらつ教室と題した講演、実際の活動に役立つレクリエーションや折り紙、茶道の紹介と実践等が行われ、笑いや歓声の絶えない楽しく充実した研修となりました。



### “次のサロン立上はどの集落”



# 社協のひろば

## 《広がる支援の輪 復興への熱い思いを被災地へ》

去る4月14日及び16日に熊本県熊本地方を震央とする地震が発生し、多くの尊い人命が失われるとともに、建物の崩壊など、大きな被害を受け、今なお、多くの皆さんが、厳しい生活を強いられています。本会では、震災直後の19日から、被災者支援と早期復興を願い、義援金募集を開始しました。開始直後から多くの町民の皆様や様々な事業所や団体から善意が寄せられています。今回は、沖永良部高校生徒会の皆さんが自分たちにできる支援の形として、6月11日に開催された同校文化祭において、募金活動に取り組み、その思いと成果を届け出くれました。皆さまから寄せられた義援金は、日赤鹿児島県支部を通じて被災者へお届けします。497,940円 (H28, 6, 15)



## 《あなたのやる気・時間・経験・知識を地域のために》

すべての住民が住み慣れた地域で安心して生活できるまち（和泊町）を実現するためには、地域で暮らす皆さま一人ひとりの力が必要です。社会福祉協議会では、地域福祉の推進に係る人材の養成と確保を積極的に推進しています。下記の活動に関心のある方、是非ご一報下さい。

◇生活支援サポーター：高齢者等の生活上のちょっとしたお手伝い（1時間程度）

◆学習サポーター：元気高齢者の脳トレ（シニアはつらつ教室）の運営支援（毎週土曜日）

◇災害ボランティア：和泊町内や沖永良部島内で災害が発生した時の片づけ等のボランティア

※ボランティア登録も行っております。関心のある方はお問合せ下さい。

## 《もうお済ですか？救急医療情報キットの配備》

本町では、平成24年から高齢者及び障害者等が傷病等により緊急に治療等の措置を要する場合に、救急医療活動を迅速に遂行するため、かかりつけ医療機関や持病及び服薬内容等の医療情報を記載したシートを容器に入れ、冷蔵庫で保管する救急医療情報キットを無償で交付しています。

本会まで、ご相談いただければ、担当職員が直接ご自宅を訪問し、必要事項を確認の上、シートを作成し交付いたします。お気軽にご連絡下さい。



## ～お知らせ～ 相談は無料です。

### 《 暮らし安心サポートセンター “わどまり” 》

社会福祉協議会では、相談窓口を設置し、生活の困りごとや不安を抱えている方などからの相談に応じるとともに、自立支援計画の作成や関係機関との連携による様々な支援を行います。

○具体的な相談内容例

- 生活に困っている
- 仕事が見つからない
- 家賃を払えない
- 病気で働けない
- 家族のことで悩んでいる
- 社会に出るのが怖い
- 将来が不安
- など

お問い合わせは、社協事務局（92-2299）までお気軽にご連絡下さい！